

名古屋別院の ひがん 春のお彼岸

【とき】2015年3月18日[水]～24日[火]

彼岸会法要 18日[水]21日[土・祝]24日[火] 午前9時～ 本堂法話 午前10時30分～ 午後1時～ お彼岸期間中毎日

戦後70年 全戦争犠牲者追弔法要

【とき】3月12日[木] 午前10時～
【ところ】名古屋別院本堂

1945年3月12日に名古屋別院の堂宇が焼失し70年が過ぎ、今なお戦争が世界で続いております。全戦争の犠牲者をおもひ、勤修させていただきたく存じます。ぜひご参拝ください。 ※永代経と兼ねてお勤めします

★同日11時頃から本堂付近において“すいとん”のふるまいがあります。どうぞお立ち寄りください。(「でらボラNAGOYA」主催)

戦後70年 全戦争犠牲者追弔法要記念行事

「戦争、ってなに？」交流会

【とき】3月21日[土・祝] 午後1時30分～

【ところ】東別院ホール(東別院会館3階)

戦後70年、我々は何を生み出し、何を失い、何を学んできたのか。日本では「非核、非戦」が叫ばれ、戦争状態に陥ることのない70年を送られた、しかし世界では今この時も戦火が燃えている。さらに、憲法9条をめぐる様々な問題が今生きている我々の目の前にある。戦争のない世界を願いながら、戦争をしている人間とは、私とはいったい何であるのか。

戦場体験者と、高校生・大学生という若い世代、また「戦争、平和」の問題に立ち止まる全ての人たちの交流会を名古屋別院で開きます。ぜひ、ご参加ください。

参加ご希望の方は、事前にお申込みください。



近藤 一(こんどう はじめ)氏

桑名市在住。現在95歳。元陸軍兵士として、中国山西省や沖縄戦で死闘を経験された。80年代中頃より、二つの「戦場の実相」を市民や中高生に意欲的に語ってきた。著書に『最前線兵士が見た「中国戦線・沖縄戦の実相」(学習の友社)がある。



安川 寿之輔(やすかわ じゅのすけ)氏

名古屋大学名誉教授、教育学博士、「不戦兵士・市民の会」副代表理事。差別と戦争責任意識を踏まえた戦争体験証言と、福沢諭吉について講演を行う。「福沢諭吉のアジア認識」「福沢諭吉の教育論と女性論」(高文研)など著書多数。



映像作品「アジア太平洋戦争、中国の二つの戦争」より(2枚とも)



高校生と語り合う近藤一氏



若き日の近藤一氏

- 内容
- 第一部 ◆ドキュメンタリー「私は伝えたい! 風船爆弾～学徒動員・女学生の証言～」(相山女学園大学の学生が制作) 放映 ◆「アジア太平洋戦争、中国の二つの戦場」(同朋高校放送部/「東京ビデオフェスティバル」最優秀賞受賞) 放映・発表 ◆近藤一氏「兵士が見た二つの戦場の実相」当日は「不戦兵士・市民の会」東海支部事務局の宮城道良さんによる質問形式で講演をされます。体調不良の時には、過去講演映像の上映となります。ご了承ください。 ◆安川寿之輔氏、「差別と戦場体験証言と福沢諭吉について」差別と戦争責任意識を踏まえた稀有で貴重な近藤一氏の戦争体験証言の意義を語る。
 - 第二部 パネルディスカッション (パネラー:近藤一氏、安川寿之輔氏、愛知県高校生フェスティバル、同朋高校放送部、「平和展」スタッフほか)
 - 第三部 「平和展」観覧

第26回 平和展 「戦争と歩んだ教育」

【とき】3月18日[水]～24日[火] 午前10時～午後6時 18日午前11時より開会式

【ところ】名古屋教務所議事堂(名古屋別院境内東側)

主催/真宗大谷派名古屋教区教化センター

協力/真宗大谷派名古屋教区教化委員会、真宗大谷派名古屋別院



尾張中学校(現在の名古屋大谷高校)の新築移転記念国旗掲揚式

真宗大谷派名古屋別院(東別院)

【問い合わせ】真宗大谷派名古屋別院(東別院)
〒460-0016 名古屋市中区橘2-8-55
Tel: 052-321-9201 Fax: 052-321-3184

地下鉄名城線「東別院」駅4番出口より参道を西へ徒歩5分

お東ネット 検索

<http://www.ohigashi.net/>

一般参詣、「戦争、ってなに？」交流会、
「平和展」参観ともに無料

